薩摩青雲丸新聞

R8年度2次航
最終号

薩摩青雲丸
指導教官





沿岸航海実習開始

停泊実習を終え、十一月二日に枕崎港を出港し神戸港に向かいました。九州西側より関門航路・来島海峡航路・備讃瀬戸航路・明石海峡航路の瀬戸内海における各航路を通りました。座学でしか学べていなかった分大変貴重な経験になりました。専攻科においては手動操舵での航行になり緊張しながらもしっかりと努めていました。

また、遠洋航海と違い様々な船を見る機会や夜間時の航法など沿岸航海ならではの醍醐味を味わっています。

残りの実習期間も一週間を切りましたが最後まで学ぶ姿勢を忘れることなく、安全第一で過ごしていきたいと思います。

下船日まで、生徒達の一回り成長した姿を楽しみにお待ちください。

航路実習



今回の沿岸実習では瀬戸内海や東京湾、伊勢湾など日本の主要航路を航行する内容であり、将来船長を目指す生徒達にはとても良い実習となりました。本科生は事前に作成した航路情報メモを見ながら見学することができました。

寄港地入港



最初の寄港地である神戸港に入港しました。本科生は修学旅行代替としてUSJに向かい良い思い出を作ることができました。また近くに大型客船やきれいな夜景を見ることができました。また神戸港を出港し、川崎港、名古屋港でもそれぞれ事前にスケジュールを組み散策や食べ歩きを楽しみました。

出入港作業(甲板部)





入出港時に甲板部は係船索の準備や片付けなどの作業に従事します。最初は見学させていた本科生も専攻科に習い後半には参加しました。慣れない作業に苦戦しながらも技術を身に付けるべく頑張っていました。

出入港作業(機関部)





同じく機関部も発電機の準備や船橋にてプロペラ翼角操作などを行っています。船が安全に着離岸するためになくてはならない作業を担ってくれています。

停泊実習中には

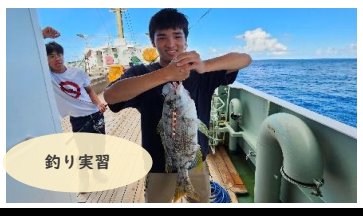












停泊実習中に保護者の皆様から差し入れをいただき、生徒達も無事に乗り切ることができました。お礼申し上げます。

停泊中にも錆打ち作業やペンキ塗り作業、操練、釣り実習などや、もちろん学習にもしっかりと取り組んでいました。